

# 委員会レポート

## 広報広聴常任委員会

## 広報及び広聴・町村議会研修会

〔概要〕  
三重県玉城町、オンデマンドバスは、東京大大学院と協働でコンピュータを使ったシステムづくりをした。オペレーターは、利用者の乗車場所、目的地、時間を選ぶ事で、コンピュータが候補を表示する。乗客はこの中から第一希望を選ぶ。1日の運行スケジュール管理の大部分をコンピュータが行う。10代の利用者も塾へ通う片道の利用などもあるとのこと。

〔愛知県阿久比町〕  
幼保小中一貫教育は、平成17年度に元教育長が1町1中学校の利点を生かし、九つの幼稚園・保育園、四つの小学校、中学校で行われる保育や教育に一貫性を持たせようとしたもの。幼稚園・保育所から中学校までを見通す「段階なき教育」、小・中学校入学時点でのスタートをそろえる「段落なき教育」を行い、義務教育の出口である15歳には「自らを律し、実践していく生徒」「社会で役立つ学力、必要な人間性と健康な体力」といった育成を目指した。このプロジェクトは家庭や地域

〔町村議会広報研修会〕  
7月1日、郡山市ビッグパレットふくしまでの研修会に参加した。全国広報コンクルの審査員などを務める金井茂樹氏を講師に迎え、「戦略的広報と議会報づくりの型」と題し研修が行われた。研修会の最後には、議会報クリニックが行われ、猪苗代町議会だよりの評価は、全体として「良」の判定をいただいた。今後も引き続き、地域住民に、議会の制度・仕組み・役割を知ってもらい、さらには議会の活動を理解・納得していただけるよう考え、広報誌作成に努めてまいりたい。



広報研修

## 総務文教常任委員会

## 元気バス「ICTを活用した地域公共交通」・幼保小中一貫教育

〔概要〕  
三重県玉城町、オンデマンドバスは、東京大大学院と協働でコンピュータを使ったシステムづくりをした。オペレーターは、利用者の乗車場所、目的地、時間を選ぶ事で、コンピュータが候補を表示する。乗客はこの中から第一希望を選ぶ。1日の運行スケジュール管理の大部分をコンピュータが行う。10代の利用者も塾へ通う片道の利用などもあるとのこと。

〔愛知県阿久比町〕  
幼保小中一貫教育は、平成17年度に元教育長が1町1中学校の利点を生かし、九つの幼稚園・保育園、四つの小学校、中学校で行われる保育や教育に一貫性を持たせようとしたもの。幼稚園・保育所から中学校までを見通す「段階なき教育」、小・中学校入学時点でのスタートをそろえる「段落なき教育」を行い、義務教育の出口である15歳には「自らを律し、実践していく生徒」「社会で役立つ学力、必要な人間性と健康な体力」といった育成を目指した。このプロジェクトは家庭や地域

と協同的に行われるものである。〔意見〕  
元気バスは、東京大大学院が滋賀県で都市計画の一環として実証実験を行っている情報を得て、実現の手助けとなった。運賃は無料なので、無理な要望は受け付けないのが強みだと感じた。阿久比中学校の生徒数は1200人のマンモス校にもかかわらず、子供たちの礼儀が正しく、また落ち着いて授業を受けている。それは、地域の方が保育園の頃から見守り、登校時に声かけ、地域の方の指導が大きく影響していると考えられる。



安心・元気な町づくり「玉城町元気バス」

## 会津若松地方広域圏市町村整備組合

## 令和7年8月議会定例会

〔概要〕  
伊奈町は住民サービスのDX化を積極的に推進している。「書かない窓口」は、マイナンバーカードや運転免許証を記載台に読み込ませることで氏名や住所が自動的に転記される。記入負担や待ち時間が大幅に減少し、コロナ禍での混雑緩和にも効果があつた。住民票等のコンビニ交付サービスは、住民票、印鑑登録証明、所得証明や課税・非課税証明の交付が可能で、職員の窓口負担軽減にもつながっている。町域が小さくコンビニが生活インフラとして機能している地域において特に効果が高いと感じた。

〔長野県小諸市〕  
ごみ減量化の取組として、資源回収報奨金制度や有料化の導入、食品ロス削減に向けたフードバンク等を推進している。また、市民を対象に「ごみ減量アドバイザー」を養成し、講座やイベントで啓発活動を行っている。不要品リユース事業については、昨年7月から開始し、広報誌等の周知により認知度を高めている。

会津若松地方広域圏市町村圏整備組合議会定例会が、8月8日から8月21日に行われました。条例案件の「整備組合環境センター条例の一部を改正する条例」では、新ごみ焼却施設の整備に伴い施設の位置を変更するため、所要の改正措置を講じ、契約案件の「会津若松消防署城南分署大規模改修工事請負契約の一部変更について」では、庁舎屋上防水工事において想定以上の劣化が確認され、防水工法の一部変更が必要となったことから所要の追加工事を行い、44万5000円を増額し変更後契約金額を2億8312万6000円とするものです。令和7年度一般会計補正予算は、歳入歳出ともに増額し、総額180億8994万5000円となりました。

## 一般会議の募集について

町政に関して、議員と意見交換をしませんか。

議会事務局（0242-62-5666）までお問い合わせください。

## 経済厚生常任委員会

## 書かない窓口・ごみ減量化

〔概要〕  
伊奈町は住民サービスのDX化を積極的に推進している。「書かない窓口」は、マイナンバーカードや運転免許証を記載台に読み込ませることで氏名や住所が自動的に転記される。記入負担や待ち時間が大幅に減少し、コロナ禍での混雑緩和にも効果があつた。住民票等のコンビニ交付サービスは、住民票、印鑑登録証明、所得証明や課税・非課税証明の交付が可能で、職員の窓口負担軽減にもつながっている。町域が小さくコンビニが生活インフラとして機能している地域において特に効果が高いと感じた。

〔長野県小諸市〕  
ごみ減量化の取組として、資源回収報奨金制度や有料化の導入、食品ロス削減に向けたフードバンク等を推進している。また、市民を対象に「ごみ減量アドバイザー」を養成し、講座やイベントで啓発活動を行っている。不要品リユース事業については、昨年7月から開始し、広報誌等の周知により認知度を高めている。

伊奈町の住民サービスのDXと小諸市の循環型ごみ処理の事例は、いずれも地域課題に応じた工夫で成果を上げている。本町においても、利便性と効率化を両立しつつ、地域特性に合った施策を展開し、住民が安心して暮らし続けられる環境づくりを進める必要があると感じた。



マイナンバーカード等の読み込みで氏名等が自動的に転記される記載台

〔意見〕  
伊奈町の住民サービスのDXと小諸市の循環型ごみ処理の事例は、いずれも地域課題に応じた工夫で成果を上げている。本町においても、利便性と効率化を両立しつつ、地域特性に合った施策を展開し、住民が安心して暮らし続けられる環境づくりを進める必要があると感じた。